



第38号
2015年12月1日

○発行
鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取こども学園後援会
電話(0857)22-4206
<http://www.tottorikodomogakuen.or.jp/>
○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
○題字 尾崎悌之助

メリークリスマス

愛はひとつで
絶えぬひとがな

聖書 ハコント人への第一の手紙 第十三章

鳥取こども学園 乳児部院長 田中佳代子

メリークリスマス!!。今年もまた、クリスマスの時期がやってきました。鳥取こども学園は、日露戦争後の戦争孤児救済のために、クリスマスチャンである尾崎信太郎氏が創設した施設です。来年一月十二日には

創立百周年を迎えます。毎年クリスマスを大切にし、皆でお祝いをしています。クリスマス前の日曜日は、保護者や日頃からお世話になっている関係者の方々をお招きして、子どもたちや職員等の出し物を楽しんでいただいているところです。一部は、礼拝と

イースキリストの降誕劇で、一年間、皆が守られて過ごせたことに感謝し、また一年おわったことお祈りします。一部で出し物を行いますが、全員参加が難しくなつたこともあり、数年前から有志での出し物にしました。それでも予定時間を越すほど積極的な参加があり、子どもたちのエネルギーと躍動を感じる次第です。

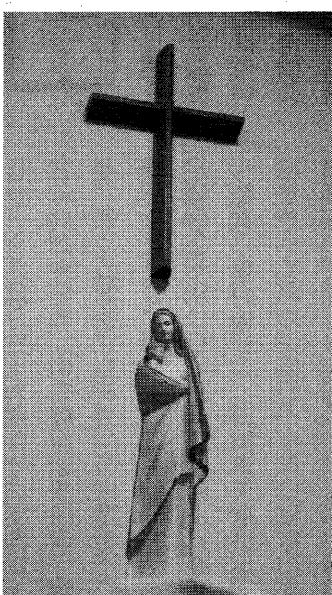
今年は、「希望館」改築の竣工を前にじともに、みんなの方々に支えられていく感じも育つていったように思います。

改めて痛感し、感謝の絶えない年でした。本当にありがとうございました。

今、社会的養護は、施設の小規模化と家庭的養護の推進が叫ばれ、全国的な取り組みが始まっています。鳥取こども学園は、昭和三十六年に小舎を二棟建て、家庭的養育の一歩を踏み出しました。その後も建物を改築するたびに、小舎に移行し現在に至っています。少人数で家庭的雰囲気のなかで、子どもも職員も共に暮らすことを法人の理念としておぼせました。鳥取こども学園・希望館・乳児部とともに全館小舎です。子ども一人一人と向き合

い、共に喜び、共に悲しみ、共に苦しむ。そして、共に育つ。振り返れば、私も若かりし頃は、ただ無我夢中なだけで、子どもたちには随分と申し訳ない寄り添いしか出来ていませんでした。それでもやがて子ども達も育つていったよ

昭和の時代から小金制に取り組んできた鳥取こども学園は、先駆的な取り組みをしてきた施設の一つと聞いていました。乳児院も創立百年に併設して十年目を迎えたまわ。試行錯誤の繰り返しだが、家庭的養育を大切にする乳児院としての歩みが、地に足がついたものになってきたと自信しておられます。しかしながら改築はしておりません。私たち鳥取こども学園は、これまでいふといふ視点ではなく、子どもたちや保護者・社会的養護を必要とする人たちにとって、もっと良い取り組みや寄り添いはないかと絶えず模索を続けてきた歴史があります。公益事業を含め、法人が十一事業プロjes事業になつた由縁ともいふべきです。まだまだ借金は多く事業の拡大はないと思いますが、今後は、先駆的取り組みの施設として、恥じぬことのない歩みが出来るようクリスマスに祈りたいと思います。地域の皆さんも、関係者の皆さんのお見舞いを今後もいつもいふいふよろしくお願ひいたします。



法人本部

常務理事 藤野 興一記

あらためて創立の精神に立ち返り、鳥取じども学園創立五十周年、自立援助ホーム十周年設立三三〇、乳児院十周年記念式典を準備し、法人財政基盤強化と更なる飛躍を目指す

① 「法人要覧」の重大な「誤植」?
数年前、「広報委員会」が編集、改訂された「法人要覧」を見て驚いた。先ず法人理念の個所で、「私たちは『やじもを飯のたねにする福祉屋』にはなりたくないません」というフレーズがそっくす割られ、沿革の個所でも「昭和五十三年三月、十八歳までの養護保障を掲げて『高校全入』運動を開始」が削られていた。

誤植だというが、私は、創立の精神がまだまだ若い人たちに十分伝わるがために危機感を抱いた。

② 社会福祉法が改正される。私も審議会委員として関わり、「措置施設である社会的養護関連法人は、福祉産業としての『福祉屋』として成り立たない。事業そのものが極めて公益性が高く且つ不採算な社会的養護関連法人への法人税課税は甘庶できない」と主張し続けてきた。あらためて慈善事業時代からの歩みを踏まえ、社会福祉法人制度を守りたい。

③ 一〇一六年には、鳥取孤児院創設

(一九〇六年一月一三日)から一〇周年、自立援助ホーム法人移管から一〇一九年一月四日創設から三三〇周年、乳児院創設(一九〇六年一〇月一日)から一〇周年を迎える。一〇一六年一〇月一日に、記念式典を計画したい。

「やじもを飯のたねにする福祉屋」でなく、要請・依頼があれば「先づ受けける」とを誓え、当園以外行くところがないれば、何としても体制を作つて受け、どんなに辛いことやかども寄り添い続ける。やじもが制度に合わないからどうぞも切ら掉てゐるのではなく、やじもに制度を合わせることを追求したい。

・全員住込み男女指導員一人時代に、八十名定員の児童養護施設で一十八人の高校生を抱えた「高校全入」運動から、非行がピークの時に、どんなやじもでも丸「Jと全面受容し、やじもを信頼して寄り添い続ける姿勢を学んだ。現在の学園のあり様は、この運動の影響が大きい。

④ しかし、財政的には、次々に建て替えを迫られた施設整備事業、「児童家庭支援センター事業」など多くの赤字部門、大規模な立て替え運転資金を要する「地域若者サポートステーション事業」等、法人本部は今、「火の車」となっている。法人財政基盤強化のために、更なる支援をお願いしたい。

鳥取じども学園

児童養護施設

鳥取じども学園では、鳥取みどり園を除く法人全体で年間五十名程度の実習生と一百名程度の視察・見学者を受けます。今年は九月二十九日より、全国社会福祉協議会のアジア社会福祉従事者研修を経たこととなり、法人内の施設でマレーシアのJバリーさんが約一ヶ月半の研修をすみました。

私は、研修生のJバリーと一緒に申します。マレーシアのサバといふ所から来ました。サバには色々な民族の人々がいます。私は、カタサンといふ民族です。カタサンは、サバで最大の先住民族であり、伝統的な文化(衣装やダンス、料理、祭り、言葉など)を持つています。私はマレーシアでは、エントフォトコーストレーングセンターという施設に勤めしており、広報業務を担当していました。レーシアの中でサバは最も貧しい州ですが、大変でしたが、今では少しも色々な言葉を理解できるようになりました。

YAMADA



ビバリーマーチャンジヨウコンジヤリシト

みなさんはじめました。

私は、研修生のJバリーと一緒に申します。マレーシアのサバといふ所から来ました。サバには色々な民族の人々がいます。私は、カタサンといふ民族です。カタサンは、サバで最大の先住民族であり、伝統的な文化(衣装やダンス、料理、祭り、言葉など)を持つています。

私は、研修生のJバリーと一緒に申します。マレーシアのサバといふ所から来ました。サバには色々な民族の人々がいます。私は、カタサンといふ民族です。カタサンは、サバで最大の先住民族であり、伝統的な文化(衣装やダンス、料理、祭り、言葉など)を持つています。

私は、研修生のJバリーと一緒に申します。マレーシアのサバといふ所から来ました。サバには色々な民族の人々がいます。私は、カタサンといふ民族です。カタサンは、サバで最大の先住民族であり、伝統的な文化(衣装やダンス、料理、祭り、言葉など)を持つています。

した。十六歳から十九歳までの男性は、二年間職業訓練(例えは自動車整備、溶接、家具の製造、エアコンの修理等)を受けることができます。

一〇〇一年から、日本政府により施設へ職業訓練の機会と、自動車を提供していただいている、一〇一一年に日本の総領事館の方が施設を訪問された際、私は彼の丁寧な言動に驚き、日本に行ってみたいと望むようになりました。

こんなには

ビバリーマーチャンジヨウコンジヤリシト

私は、研修生のJバリーと一緒に申します。マレーシアのサバといふ所から来ました。サバには色々な民族の人々がいます。私は、カタサンといふ民族です。カタサンは、サバで最大の先住民族であり、伝統的な文化(衣装やダンス、料理、祭り、言葉など)を持つています。

私は、研修生のJバリーと一緒に申します。マレーシアのサバといふ所から来ました。サバには色々な民族の人々がいます。私は、カタサンといふ民族です。カタサンは、サバで最大の先住民族であり、伝統的な文化(衣装やダンス、料理、祭り、言葉など)を持つています。

した。十六歳から十九歳までの男性は、二年間職業訓練(例えは自動車整備、溶接、家具の製造、エアコンの修理等)を受けることができます。

一〇〇一年から、日本政府により施設へ職業訓練の機会と、自動車を提供していただいている、一〇一一年に日本の総領事館の方が施設を訪問された際、私は彼の丁寧な言動に驚き、日本に行ってみたいと望むようになりました。

ホームとは別室で専任職員を配置し、落ち着いた環境で養育できる体制を整へ、子どもの支援を取り組んでいます。以前は県や市から依頼があつた子どもを各ホームで他児と一緒にみていましたが、ホームの子どもが情緒不安定になつたり体調を崩したりすることが多いからです。チームかくらん体制によつそれらが改善され、ホームの子どもが落ち着いて過去世でこのので継続していきたいねと、職員間で声が上がっています。私もチームかくらんのメンバーに加わることになりました。人生を歩み始めた乳児部の子どもたちに、愛情を持って接し、健やかな発達成長を下支えできるよう、今後も研修などに参加し、日々研鑽し養育のスキルアップを図り、子どもの支援に生かしていくことを思っています。

セミナーで語る
「職員の心構え」

2015年12月1日 第38号 (4)

ホームとは別室で専任職員を配置し、落ちていた環境で養育できる体制を整へ、子どもの支援を取り組んでいます。以前は県や市から依頼があつた子どもを各ホームで他児と一緒にみていましたが、ホームの子どもが情緒不安定になつたり体調を崩したりすることが多いからです。チームかくらん体制によつそれらが改善され、ホームの子どもが落ち着いて過去世でこのので継続していきたいねと、職員間で声が上がっています。私もチームかくらんのメンバーに加わることになりました。人生を歩み始めた乳児部の子どもたちに、愛情を持って接し、健やかな発達成長を下支えできるよう、今後も研修などに参加し、日々研鑽し養育のスキルアップを図り、子どもの支援に生かしていくことを思っています。

セミナーで語る
「職員の心構え」

セミナーで語る
「職員の心構え」

セミナーで語る
「職員の心構え」

セミナーで語る
「職員の心構え」

セミナーで語る
「職員の心構え」

ホームとは別室で専任職員を配置し、落ちていた環境で養育できる体制を整へ、子どもの支援を取り組んでいます。以前は県や市から依頼があつた子どもを各ホームで他児と一緒にみていましたが、ホームの子どもが情緒不安定になつたり体調を崩したりすることが多いからです。チームかくらん体制によつそれらが改善され、ホームの子どもが落ち着いて過去世でこのので継続していきたいねと、職員間で声が上がっています。私もチームかくらんのメンバーに加わることになりました。人生を歩み始めた乳児部の子どもたちに、愛情を持って接し、健やかな発達成長を下支えできるよう、今後も研修などに参加し、日々研鑽し養育のスキルアップを図り、子どもの支援に生かしていくことを思っています。

セミナーで語る
「職員の心構え」

鳥取みどり園

保育所
鳥取みどり園
保育士 秋 崎 瞳

「早く大きくなれ」

0歳児のひよこ組を担当

黄色に色づいたイチヨウの葉が舞い散り、秋の深まり、そして、少しづつ冬の終わり続けた取り組みは、私たちにとって今年度は

0歳児のひ

よこ組を担

当してこま

す。年度初

は予ども

働きを眞面目に継続してこな実績がある

から、JAL、何かのきっかけで「コースに

なり、取り上げられたとき、今まで関心

も理解もなかつた多くの人に存在を知つ

てもう、それらの人々にその後も継続

鳥取JALもみ園希望館

精神科医 池 成 孝 昭

この秋、ラグビーのワールドカップがギリスで行われ、日本代表の活躍がメディアで大きく取り上げられました。一九八七年の第一回から日本は参加してい

ますが、今ほどJAL一部のファンにしてその存在は知り得ていませんでした。二十五年の一勝田、しかも最強国とのひとつ南アフリカに勝ったこと、予選リーグで三勝をあげ、決勝リーグに進めなかつたこと、そのほか様々なことが話題になり、帰国後はテレビや雑誌で「JAL選手達は一躍『時のひと』となつました。

そのテレビに出たこの選手達は「一時的なJALで終わらせたくない」と話しています。

JAL全体が、四年間かけて取り組んできた様々なことにも注目されていました。グラウンドで活躍した選手や監督以外にも多くの人たちが、JALのチームへ関わっていました。試合に出なかつたサポートメンバー、途中でメンバーから外れた選手たち、外国からやってきたコーチ、他の臨時コーチ、同行したメンタルコーチ、現役ロシクミ・コーチ・シャンの)、通訳、試合以外での数々の難題を解決した涉外担当、認知度を高め、かつマスクミから選手を守る広報担当、その他にも沢山のスタッフ、そしてそれを外から応援する人たち、あるいはボランティアの人たち、みんなの総合力で成し遂げられたものだと思います。

入所の予定



もたちもあつ、十七畠の「」やかなクリスマスになりました。

ひよこ組は十一か月から一歳八か月の子どもがいます。〇歳児は月齢差が大きいほどまでの姿は様々です。四四月初はまだルクを飲んで寝ていたやむすきではハイハイをするやむすきもから歩けないでいるまでその姿は様々です。四四月初ではハイハイをして部屋中動き回つています。歩けないやむすきもすくべり同じ遊びで滑つたり、木製の車に乗つて遊ぶ姿が見られます。また、棚や箱の中のものを出したり入れたり、探索活動が盛んな子どもたちです。

〇歳児のこの時期は本当に成長が早い、一步一步と歩き始めたやむすきの瞬間に立ちはさんだことをうれしく思っています。その喜びを保護者とも共有し、これから家庭と同じよな温かい雰囲気でやむすきたちが安心していけるようにしたいと思ってます。

「食べるの大好き」

・栄養士 福井知佳

「今日の給食はなあ!」

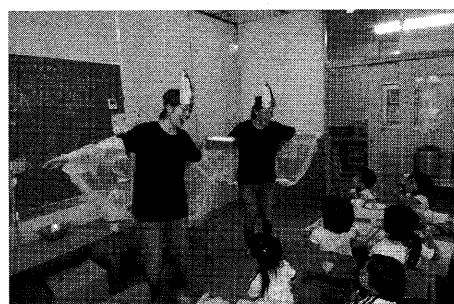
毎朝やむすきたちが投げかけてくれるこの言葉で、私の一日が始まります。みどり園の栄養士になつて今年で五年目になります。栄養士になることを決めてから

保育園で働くことに憧れてきました。念願の職業につき、給食をひとしきりやむすきたかし離れていたり、ひとりやつかりでもまだその姿は様々です。四四月初はまだルクを飲んで寝ていたやむすきではハイハイをして部屋中動き回つています。歩けないやむすきもすくべり同じ遊びで滑つたり、木製の車に乗つて遊ぶ姿が見られます。また、棚や箱の中のものを出したり入れたり、探索活動が盛んな子どもたちです。

かじや時

代の食習慣は、大人になつてから大きく影響を受けます。子じわたちにひとりで、まさに今が理想的な食習慣を身につけるための大重要な時期です。

そこで、私たちが「食」をより身近なものにしたいと考へ、毎月十九日を食育の日として、三歳以上児と共食をしています。食べながら献立や調理について語り合って、食に対する意欲を高めていくことができ、また直接食べる様や反応を観察することで、調理への工夫や改善点などのが見えてきます。そのほかに、毎月、その季節の旬の食材に変身(仮装)して保育室を回り、旬を伝える取り組みをしていました。「これによつて、曲い食に興味を持ち、知識を得る」と同時に、やむすき同士や家族との会話の材料になつてしまつたと思います。



鳥取みどり園年間行事

入園式、遠足、バザー、七夕祭り、プール開き、卒園生の集い、運動会、感謝祭、クリスマス祝会、講演会、作品展、ひなまつり、お別れ会、卒園式、保育参観、交通安全教室、納涼祭、施設訪問、地域地区老人会との交流、内科健診、歯科検診、6歳児歯健康講座、尿・便・蟻虫検査

毎月行う行事

お楽しみ会、誕生会、避難訓練、発育測定、交通安全指導、クリンキー、おはなしの会(2~5歳児)

私は食べるの大好き一生をしおりの楽しみだし物へとつながる。おこころのや

好きな人と食べるとの時間は安心感や信頼感を感じるものになります。これは誰ひとりとも同じであります。

みどり園での給食をおこして、その楽しみをつてもらう、「食べるの大好き」なやむすきになつてもらいたいと願っています。

二つの発達クリニック

診療所

自然の力

元素の姿 職員の想い

院長 川口孝一

自然は、我々人間に時に厳しく、時に優しい。近年の地震、津波、大雨による土石流・河川の氾濫、火山爆発等の自然災害を目の当たりにして、自然の脅威、自然の前での人間の無力さを改めて感じさせられました。ですが、一方で日々の生活の中、時には非日常の中で、自然の持つ優しさ、癒しの力を感じさせられることが多いあります。

今年の夏、久しぶりに鳥取みどり園希望館の夏のキャンプに参加させてもらいました。希望館の常勤医師であつた頃は毎年ほぼフル参加でしたが、診療所(二丁目)に移つてからは診療の関係でなかなか参加できなくなりました。実は参加しなくなつた理由がもう一つあります。人見知りの強い私は、新しい職員が増え、子どもたちが入れ替わる中、日頃希望館職員や子どもたちと顔を合わせることもほとんどないので、参加しても何を話して良いか分からず、緊張するといったことが心配がありました。

今年(あの理由)、徐々に積もつて行つ

た想いもある) は文章でしか知らないひとのくなつた子どものことを直接知りたい、短い時間だけも間接的ではなく直接的に自分自身が感じた子どものことを知りたいと思い、勇気を出して(大げさでなく私にひとして一大決心でした) 参加はなく私にひとして一大決心でした) 参加させてもらいました。そしてキャンプを終え、思い切って参加させてもらつて良かったと心から思つました。子どもたちの優しさや成長ぶりに、そしてそれに寄り添い共に過ごしてくれてこの職員の真摯で誠実な姿に直接触れたのがとても感激感動しました。そしてそんな子どもたちの素の姿を出させてくれた大自然の力に感謝です。

この度のキャンプのテーマは、「新しい希望館の挑戦」へ励まし合ひ、助け合い、派遣いくじへ、メインプログラムは木ノ山(一五一〇日) 登山でした。

私は十年前、学園職員数々と標高西日本第一位の四国の大峰山(一九八一三)に強行日程で登つてから、足の攀り癖がついてしまつてしまつて、この度の登山でも足が痺り、迷惑を掛けてしまつたことは十分考えられました。なのでキャンプ地待機組に入れて欲しいと希望しましたが、既に先着で埋まつてしまつてしまつになってしまった(「あらうー」と思つましたが、登つて良かったです)。初めは快調に予定したかの運動を楽しんだりしながらの登つ

しそうしたが、想定通り九合目当たりから両大腿内側が、そのうち外側も響つてしまふ。頬みの漢方薬『芍藥甘草湯』も持続効果無く、頂上を田前にしながら、激しい痛みに耐え曲げられない両足を弓張つて一步一歩登りました。そんな情けない私にいつたん登頂したかどもたかねで降りてもいいけれ、荷物を持つてくれたり、励ましの声を掛けしてくれました。職員もいこうとお手伝ひを貰へました。おかげで通りより上にはがらも登頂することができました。二個目の子じもたらや職員の顔は、清々しく、晴れ晴れとして、輝いていました。弁当を食べた後、「飲み物も弁当も私のリコックにはもうないから、荷物も持てぬでー」と△さんか下山時のことを心配して笑顔で囁つてくれました。キヤンペで久しぶりと会った△さんの成長ぶりを嬉しく思つました。下山時は足が響る(響つき)けたりはめつましたが、△ともなく何とか無事下山できました。登りで荷物を持つてくれたB君が、下山の途中も△の心配をして、「荷物持つてあげなくて大丈夫だろうか」と他の職員に囁つてくれていた後で聞きました。B君、ナイス・ガイです。△さん、B君だけではなく、「みんな優しく可愛らしい子に育つてるなあ」と愛おしへ嬉しく想いました。と、同時に「職

鳳の皆さんが大切に関わってくれていったなあ」と再認識し感謝の念でいっぱいになりました。

そんな姿が見られたのは大自然のおかげで、人は大自然に抱かれると素になれる（因みに私は『性善説』を信じています）のでしよう。やむを得たためにも「下田（俗世）」でも、素で生やしれぬよ／＼して欲しい。幸せ（生きていて良かつたと思ふ）瞬間があるよ／＼、どうして欲しいと想いました。

皆さん、おっかと／＼せこました。
我々学園の職員は、こんな想いで下田もたれと生活していくよ／＼、私は思って／＼おもふ。

〜♪スター・ナルドレフ『タガタメ』〜

ディカプリオの出世作なり
さつき僕が録画しておいたから
もう少し話をしよう
眠ってしまうにはまだ早いだろ
この星を見てるのは
君と僕と あと何人いるかな
ある人は泣いてるだろ
ある人はキスでもしてねえんだり
子供らを被害者に 加害者にもせずに
この街で暮らすため おおがをすぐきだのう
でももしも被害者に 加害者になつたしき
出来ない」といふべきだ
涙を流し 瞳を腫らし
祈るほかにないのか？

タタタタタキアツ（ただただ抱き合つて）
カタタタキアツ（肩叩き抱き合つて）
テラトツテダキアツ（手を取つて抱き合つて）
左の人 右の人

片一方を戴けないよな
僕らは連鎖する生き物だよ
この世界に潜む 怒りや悲しみに
あと何度も出会うだろ それを許せるかな?
明日 もし晴れたら広い公園へ行くの
そして「ラララ歩こう
手をつないで 犬も連れて
何も考えないで行こう

タタカツテ タタカツテ(戦つて 戰つて)
タガタメ タタカツテ(誰がため 戰つて)
タタカツテ ダレ カツタ戦つて 誰勝つた?)
タガタメタ タガタメタ(誰がためだ? 誰がためだ?)
タガタメ タタカツタ(誰がため戦つた?)
子供うを被害者に 加害者にもせばし
この街で暮らすため ます何をすべきだろ?
でももしも被害者に 加害者になつたとき
かろうとして出来ることは
相変わらず 性慾よりもなく
愛すこと以外にない

タタタタタキアツテ(ただただ抱き合つて)
カタタタキアツテ(肩叩き抱き合つて)
テヲトツテキアツテ(手を取つて抱き合つて)
タタタタタタ(ただただだだだ)
タタタタタタ(ただただだだだ)
タタタタタキアツテイコウ(ただた抱き合つて)
こう)

タタカツテ タタカツテ(戦つて 戰つて)
タガタメ タタカツテ(誰がため 戰つて)
タタカツテ ダレ カツタ(戦つて 誰勝つた?)
タガタメタ タガタメタ(誰がためだ? 誰がためだ?)
タガタメ タタカツタ(誰がため戦つた?)

対極にあるものは、実は根っこで繋がつ
ている。東に向かつて行く者と、西に向
かつて行く者が地球の裏側で出会うよ
うに。裏と表、長所と短所、善と悪、偶
然と必然、具象と抽象、意識と無意識、
生物学的精神医学と精神分析学等々。ま
た別の機会に対極にあるものについてお
話ししたいと思います。

児童家庭支援センター
子ども家庭支援センター「希望館」

関わりを通じて

最近私たちが小さい頃見ていたアニメをリメイクで見かけることがあります。センターに来られたおやさんとも時代を超えて「アーティスト」や「キャラクター」が好きになりました。そんなの話が出来るようになりました。担任の先生もセーラーレーベンが好きだということを教えてくれ、とても嬉しい気持ちになつたことを思い出しました。それは、先生という立場の大人が、自分と同じものを好きでいてくれる、自分が好きだといいことを一緒に共有できたことが、が嬉しかったのではないかなどと思します。

一緒に話をしていた子どもが夕焼けをみて「きれいですね」と喜つて口を開きました。その気持ちを考えると自分の感じている想いを共有したことこの気持ちが込められてくるのではないか。人と人を繋ぐのは、「気持ちの共有」が大きなポイントだと改めて感じます。子育て相談のアドバイスで「褒めてください」と話を聞いてあげてください」という言葉を耳にしましたが、忙しい日々を過ごさなくてはいけないのに

最近私が小さい頃見ていたアニメをリメイクで見かけることがあります。センターに来られたおやさんとも時代を超えて「アーティスト」や「キャラクター」が好きだになりました。そんなの話が出来るようになりました。担任の先生もセーラーレーベンが好きだといふことを教えてくれ、とても嬉しい気持ちになつたことを思い出しました。それは、先生という立場の大人が、自分と同じものを好きでいてくれる、自分が好きだといいことを一緒に共有できたことが、が嬉しかったのではないかなどと思します。

（ノーシャルワーカー 岸田有加）

先日、子どもと一緒に魚つりをしてきました。やむむにとつて初めての魚釣りでしたが、一番に魚をつりあげ、たくさんのじが、うきいわひとした表情をみせてくれました。やむむにとつて経験あるといふにも素敵な表情をみせてくれるんだなと感動しました。

◆ 来所相談

平日 AM9時～PM6時
(祝・祭日を除く)

◆ 電話相談

24時間対応
(TEL) 0857-27-4153

※夜間(AM9時～AM9時)・土日祝日は緊急相談のみ

抵抗がある方に限って実践はとても難しげに感じます。ただしこれは、だからこそ、「気持ちの共有」を少し意識しておこうえたり、じぶんの語の好きなことに興味を持ち一緒に感じてもらえたらありがたいと思います。

最近私たちが小さい頃見ていたアニメをリメイクで見かけることがあります。センターに来られたおやさんとも時代を超えて「アーティスト」や「キャラクター」が好きだになりました。そんなの話が出来るようになりました。担任の先生もセーラーレーベンが好きだといふことを教えてくれ、とても嬉しい気持ちになつたことを思い出しました。それは、先生という立場の大人が、自分と同じものを好きでいてくれる、自分が好きだといいことを一緒に共有できたことが、が嬉しかったのではないかなどと思します。

（ノーシャルワーカー 岸田有加）

先日、子どもと一緒に魚つりをしてきました。やむむにとつて初めての魚釣りでしたが、一番に魚をつりあげ、たくさんのじが、うきいわひとつした表情をみせてくれました。やむむにとつて経験あるといふにも素敵

多いなと感じています。その方々と一緒に悩む何ができるのか考えてこねます。しかし、寄り添いたい気持ちがあつても、その方にとつて最もいいところのものが伝えられない、少しでも、お役に立てた方が思つた気持ちがあつても、それが十分に伝わらない。常に心からしさを感じています。その方が少しでも困難をつかんでおられない。常に心からしさを感じています。

（セラピスト 滝河真理）

○八月から、児童家庭支援センター「希望館」にて電話ワーカイナーとしてお世話をしています。皆さんのお役に立てるよう、頑張ります。宜しくお願ひ致します。

（電話相談）

本年九月に「子ども文化会館で「子ども家族の絆フォーラム」を開催しました。漫画家石坂哲さんの「子どもの未来はやどりきのもの」と題した講演の他、ステージ演奏があり、ポップコーン・綿菓子・バルーンアート・射的・ブリッヂキーホルダー作り・缶バッジ作りなどのお楽しみ

里親支援とつどり

「慎ましやか」ではなく

里親委託等推進員
吉田信彦

多いなと感じています。その方々と一緒に悩む何ができるのか考えてこねます。しかし、寄り添いたい気持ちがあつても、その方にとつて最もいいところのものが伝えられない、少しでも、お役に立てた方が思つた気持ちがあつても、それが十分に伝わらない。常に心からしさを感じています。その方が少しでも困難をつかんでおられない。常に心からしさを感じています。

（セラピスト 滝河真理）

○八月から、児童家庭支援センター「希望館」にて電話ワーカイナーとしてお世話をしています。皆さんのお役に立てるよう、頑張ります。宜しくお願ひ致します。

（電話相談）

本年九月に「子ども文化会館で「子どもの絆フォーラム」を開催しました。漫画家石坂哲さんの「子どもの未来はやどりきのもの」と題した講演の他、ステージ演奏があり、ポップコーン・綿菓子・バルーンアート・射的・ブリッヂキーホルダー作り・缶バッジ作りなどのお楽しみ

演の後に里親制度の説明の機会をいたしました。また、十日には三朝町アーチナルみやげにて、西日本地区里親ワーカーの合宿「西日本地区里親の集い鳥取大会」を行いました。県内外の里親の皆さんが協力して有意義な時間を過ごしました。

大きなイベントが続きましたが、県内の里親、施設職員、行政の皆さんが力を合わせて成功しましたことは、鳥取県が重んじる財産だと感じています。

（鳥取県の里親は、様々な方の御援

助をいただき、熱い活気が溢れています。

御参加の県外の里親から「なぜあなた」元気で熱いがあるのか」との質問をいたしました。

県外の関係者からお話を聞きたいという問合せが相次いでいます。新聞等のメディアに取り上げられる」とも多くなつてきました。

現在の日本では、保護を必要とする子どもの生活空間を、「子どものありのまゝ添つて選択肢を増やし、より家庭的」、より地域に根付いたスタイルにするなどと田指し取り組んでいます。施設は、暮らしの空間を区切つたり、建物を独立させたなどの「小領制」を進めています。また、地域の一軒家を借りることも進めています。「地域小規模児童養護施設」では、地域の方との「近所付き合い」がとても大切なことであることを教えてくれます。

そして、もうとも地域に根付き、家庭的であるのは「里親」です。普通の家庭で家族の一員として暮らすことがあります、裏親は、更に強く「家庭」を感じるなどが出来ます。里親と一緒に生活する子どもを「これまで以上に増やす」ことを進めています。

里親は從来、奉仕の精神で人知れず慎めしやかにやるものため頑力してもおこ

た。しかし、「これからは『標準化』ではなく『個性』も求められています。在を知つていただく必要があつます。里親や制度の説明をいたします。

講師費用は必要ありません。土日祝日、夜も県内どこへでも伺います。地域・児童・教育・福祉に関する集まり、企業の職員の方や団体の方等への人権教育や地域貢献推進の研修など、短時間（十五分）でもお可受けします。勿論、個人の方でもお気軽に御相談ください。

問合せ先

里親親支機関事務局

（電話：0855-71-22-4221）

鳥取フレンド 自立援助ホーム

想いはひとつ

保育士 国本京子

スマイル

寮長 田村崇

鳥取スマイル 自立援助ホーム

フレンドへ勤務して、三ヶ月経つといつていまますが、色々な子どもが入寮し巣立つていきます。巣立つた直後は、丈夫かなと心配しながらも、「意外とやるな」「これなり大丈夫かな」と一安心します。里親と一緒に生活する子どもを「これまで以上に増やす」ことを進めていくあります。

私はこの動画を観て、縁あつて日々青少年どとかかわるながら生活を共にしている一人の大人として、未来ある彼ら彼女らのこれから的人生を「どうせ無理」と片付けて夢や希望を奪つてしまつてはなく、「だったらどうしてみたら?」「どうしてそれは、この日の生活があつたから」と、職員なりに納得できません。これが異なつた境遇の中育ち、様々な体験をして、癒しきれない傷を負い、それでもじつむづぬよのなかかわりを心がけて

フレンドに入所したこの子どもたちも、今まで迎つた子どもたちの歴史を踏まえながら、強い心を持って生きていって欲しい、自立に向かつて欲しいと願うばかりです。

先日、ひょんなことからある動画に出会いました。北海道のある中小企業でフサイクルの機械を作りながら、ロケットを飛ばすことに情熱を注いでいるっしゃる植松努さんの「一十分ぐらいのプレゼンテーションでした。『思うは招く』と題して、朗らかの中にも植松さんの思いが伝わるとしても素敵なお話でした。「宇宙開発は夢ではなく手段」過ぎない」では何の手段なのか…。興味がないことをしたら是非検索して見てみてください。

感想は人それぞれあると思いますが、私はこの動画を観て、縁あつて日々青少年どとかかわるながら生活を共にしている一人の大人として、未来ある彼ら彼女らのこれから的人生を「どうせ無理」と片付けて夢や希望を奪つてしまつてはなく、「だったらどうしてみたら?」「どうしてそれは、この日の生活があつたから」と、職員なりに納得できません。

「自立」していくために毎日を生きています。みんな、個性、もじれついですか。

出合いの数だけそれぞれの人との関わりで行かない」と実感したのか、仕事を続け、しつかり立つて行く様子を見せてくれた子がいました。その一方で、自己中心的な所が前面に出で、先行き不安な子もいます。どの子も、それぞれ

「こす我々に求められてくるものを毎日試行錯誤し、悩み、省みながら日々を送っています。思春期で多感な彼ら彼女らと共に過ごしてくれた子がいました。その一方で、自己中心的な所が前面に出で、先行き不安な子もいます。どの子も、それぞれ

いかなければならぬ」と強く感じました。勿論、様々な壁や困難はあります。無理に夢を追いつける一ではなく、必要な時に応じて支え支えながら生きていこうと自然に感じ取つてもいいのです。日々の暮らしを大切にしていきたいです。笑顔を忘れないで。



微笑んで じぶんは心痛んで
微笑んで じぶんは悲しくても
微笑んで じぶんは立ちはだかる
微笑んで じぶんは立ち込めてくるとも
微笑んで じぶんはあつこ
微笑んで じぶんは心痛んで
微笑んで じぶんは悲しくても
微笑んで じぶんは立ちはだかる
微笑んで じぶんは悲しくても
微笑んで そのすればきっと
あくねり 太陽があなたを照らす
しょい…

曲：チャーリー・チャップリン
詩：ジョン・タナー、
ジョン・ワード・パーソンズ

*チャップリンが映画「モダン・タイムス」のために作曲し後年詩が付けられた歌です

スマイル

微笑んで じぶんは悲しくても
微笑んで じぶんは立ちはだかる
微笑んで じぶんは悲しくても
微笑んで じぶんは立ちはだかる
微笑んで じぶんは悲しくても
微笑んで じぶんは立ちはだかる
微笑んで じぶんは悲しくても
微笑んで じぶんは立ちはだかる
微笑んで じぶんは悲しくても
微笑んで そのすればきっと
あくねり 太陽があなたを照らす
しょい…

地域若者サポートステーション事業 とつとり・よなご若者 サポートステーション

地域若者サポートステーション事業

ほした。

東部一地区の出張相談は開始間もないため、今はまだ相談が少ない状況ですが、出張相談として地域に出かけていくことで地域に必要とされ、二~三等の若者がじつとりサポートの出張相談をきっかけに社会参加や就労につながって行ける機会したいと思います。

合わせて智頭町と若狭町で開催される合同就職相談会にじつとり若者事務局を取り組みを紹介したいと思います。

平成二十年四月にじつとりサポートは業務を開始しましたが、遠距離でじつとりサポートの利用に困難を感じたために、中部出張相談を同年八月から、西部出張相談を同年五月から、西しおした。

平成二十五年四月によなご若者サポートステーションの業務開始により西部出

張相談は不要となりました。

中部出張相談は現在、週一回火曜日と金曜日に、中部総合事務所の一室をお借りして実施し、中部地区にお住いの方々の方にご利用いただいています。

以前より東部地区での出張相談を模索していましたが、今年度、東部地区二ヵ所で出張相談を開始することができました。隔月一回ですが、六月から智頭町で、七月から若狭町で出張相談をスタートいたしました。

や就労に必要な技術、マニキュアーケーション、コラクゼーション、社会人としてのマナーや仕事への意欲など集団活動の中で参加者相互に刺激しながら体験し、自らを高めて変化していくことを目的としています。

グループワークの種類を多く取り入れたいと思います。

じつとり若者サポートステーションは、「うだ」と一歩踏み出しやすい状況が生まれています。そしてグループワークは次に連携してじつとりサポートも参加しています。就労支援機関と行政が連携した取り組みも行っていきます。

じつとり若者サポートステーションは社会のニーズと利用者の方の様々なニーズに対応しながら、八年目も走り続けています。

次に紹介するのは、グループワークです。利用者が集団活動を通して参加メンバーがお互いに刺激し合いながら、個々が変化、成長していくことを支援するプログラムです。

【じつとりサポート】 職員の自己紹介



中尾泰雅
支那課

はじめまして。五月からじつとり若者サポート

スティーチョーへお世話をなつておつまます。五ヵ月経つといつしてしまいますが、少し慣れたとはいえ、まだ呑み込めないとあります。初めての頃には辰付かなかつた仕事の難しさも今改めて感じていますが、利用者の方たちに親しみを

もつていたが、サポートでもたらした思つてこね。

学園とは離れたところでの仕事をしていながら、一層こころからかわいいわくへじへお願いね。

【よな】サポート

創意工夫の二年目

総括コーディネーター
山田香子

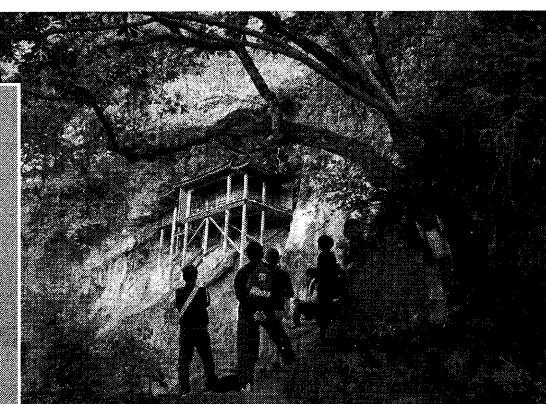
よな】若者サポートステーションは今年の春に移転し、半年を経過しました。新しい場所での仕事にもようやく慣れ、利用する方々のサポートにあたっております。移転の際、中が見えやすいようにガラス面にしたこともあってなのか、内部を覗き見られる方もいらっしゃいます。また、グループワーク活動で作った作品を飾ることで、利用者以外の方からも興味を持つて事務所をのぞいていただけたことも増えました。

今年度のサポート事業は雇用対策に力を入れているため、今まで以上に『開かれたサポート』をめざし、ハローワークをはじめとした関係機関との連携や、事務所での個別相談はもちろん、地域に開かれたサポートの展開として、新たに田野町にも出張相談を始めました。平成二

十五年度当初より行っている境港出張相談もようやく地域に根差し始め、境港の出張相談を希望される方も増えてきました。境港市の力を借り、広報活動を続けた賜物であると感じております。

またグループワーク活動でも、「地元再発見」というテーマのもじり、外に出かけました。境内の力をお借りし、広報活動を続けた賜物であると感じております。

またグループワーク活動でも、「地元再発見」というテーマのもじり、外に出かけました。境内の力をお借りし、広報活動を続けた賜物であると感じております。



けの活動を増やしました。米子市からの通勤圏内となる島根県松江市に行ったり、境港市に行く企画をするなど、毎回、事務所から離れた遠方に行き、その土地を知ることや、そこでしか体験すことのできないことを利用者の方々と一緒に行つてきました。

今年はさらに、ひとつサポートとの合同グループワークで、料理や大山青年の家の野外炊事を実施しておこなう普段なかなか会うことのできないひとつサポートのメンバーと出合つことだ、利用者だけではなく、私たちスタッフもお互いに刺激を受けてこのように感じておひまです。今後も合同のグループワークを企画していく、じのような体験をして発見があるのか楽しみです。利用者の方も最初は緊張しておられます、体験後は少し表情が違つてみえ、何かのきっかけにながれればいいなと感じておひます。

地域での役割を意識し、徐々に活動の広がりを感じておひますが、わりに地域に根差したサポートを提案できるよう、努力していくたいと感じておひます。

よな】サポートも新所長と新しいスタッフを迎えたので、全員で、次の一步へ、確実に踏み出していくたいと思いま

職員の自己紹介



心理カウンセラー
中原淑恵

ひとり勤務させて頂てます。

様々な問題によつて、働くことに不安を抱えている若者たちが、自分に自信を持ち、生き生きと働いていかであります。個々を尊重しながらサポートしてきました。いと都合でいます。

私は車、セラピストとして不安なことがあります。周囲のスタッフに支えられ、大変貴重な体験をさせていただきたいところと感謝をしてくる毎日です。心の声を聞いてお願いいたします。

はまむら作業所

一步
一步

はまむら作業所管理責任者

山岡宏樹

先日、特別支援学校の学生さんの実習

をとおし、私自身「働く」との意味を考える問題を学生さんからただおもひた。むかして私は「働き続ける」とをしてはならないのか。それは「生をしなくてはならないのか。それは「生を活し続ける鳥」であるとわかつてあります。が、本質的なところで、一体どうして生きるに向けて様々な面から支援をあります。

開設当初より「はまむらの作業所」は、封筒入れ作業、草取り、野菜や果物の収穫や選別作業、企業の事務作業や軽作業等、この通りのスタッフ、利用メンバー（利用者さんのこと）と一緒に続けてきました。納期、企業・事業者の要望等を守り、いつも実施してきました。工賃を少しでも多く支払って行きたい、少しでも就労に結びつける支援したい、大変なことがあっても工夫して働き易くしたいなど様々な思いで、スタッフ一丸となり踏ん張り切れました。

そんな中、「就労支援って何なのだろう」と尋ねられる程、奥の深さを痛感していました。

そして、日々たくさんの利用メンバー、浜村の地域の方々、御家族や企業関係者の方と協力し合ってきたこと。また、利用メンバーと、スタッフや法人関係者等と、多くの「人と人」ですが、働く鳥のア

レーハーの活動等をとおして、豪怒哀樂を共にしました。気が付けば、私自身家族との時間より、このように就労支援をとおして関わる方との時間が多くなっています。やはり意味深い時間を過ごしてみたいのです。

上手く物事を整理できていませんが、この意味深い時間を「有意義な時間」だと感じられるよう、これからも共に社会と感じられるよう、このままを大切に就労活動をとおし夢や希望を追い続ける「ことが可能になります。このままを大切に支援を継続していくことを思っています。

最後に、この気持ちを下さった実習の学生さん、ありがとうございました。「はまむらの作業所」を教えて下さった方々、この学園便つをじるとして、本当に感謝です。これからも、いつもよりごくお願いします。

四 「安金」配慮でやれ
五 「やあたら報告、伝達の連絡、困ったり相談」の報連相をこの間がける
これらのことを見識して行いました。
今年度は、四月末から九月上旬まで、一回実施し、述べ六十九名が参加しました。炎天下の中、雨の中等でも実施しました。炎天下の中、雨の中等でも実施しました。炎天下の中、雨の中等でも実施しましたが、誰一人として体調不良を訴えました。この怪我をあらすことなく、それぞれにスキルアップが見られました。

ひだまつとしては今年度は安全運転点を置きました。ひだまつが使う草刈り機は、畦道どころでも平坦などではかづいたばかり、高低差が一メートル近くもある斜面や車が頻繁に通行するといふもあります。蜂やマムシといった危険な生き物も出現しますので、安全に対する意識と配慮が必要です。

それでは、今年度はこれまで想定に行っていた安全指導を見直すために、厚生労働省の「刈払機取扱業者に対する安全衛生教育について」（平成十二年）通達に基づき職員二名が「刈払機作業従事者研修で済んだ

刈払機（草刈り機）による畦道の草刈り作業があります。この体験では、

- 一 時間厳守を守る

- 二 あこせつをかけ

- 三 責任者の指示に従つて作業し、作業力を高める



安全衛生教育
を受講しました。

研修で済んだ
草刈りにおける

草刈り機の構造・
使い方・メンテ

ナンスの仕方、
地形や周辺の状況に合わせての
安全な刈り方等

地元便つをじるとして、本道に感謝です。

このままにしておきたいと思つていて、それが、いつもよりごくお願いします。

今後は、草刈り体験希望者がこの研修を取扱うよつたシスラムツイツを増やしてもらいたいと思つていて、それが、いつもより草刈りだけでなく他の作業や活動におこして、絶えず安全と衛生を配慮する姿勢を常に守りたいと思つておきたい。

今後は、草刈り体験希望者がこの研修を取扱うよつたシスラムツイツを増やすよつとしたが、安全ヘルメットやapro

テクター等を着用するよつて配慮しま

す。

草刈り体験

退所児童等アフターケア事業

ひだまり

就労支援員
中 村 徹

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、
下記のとあります。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄付者

(2015.4.30～2015.10.28)

敬称略

氏名	氏名	氏名	氏名
有限会社 ワールドワン	萩原信幸	矢部整肇	片村俊子
土江浜代	浮田靖子	米井谷健吾	株式会社 フジ電機
田村明子	中沢皓次	芦谷英夫	山田恭幹
鳥取県教職員組合東部支部	中山大吉	児谷誠一	城戸法文人
天徳寺	植地敏	寺谷樹	山下直人
柴田和仁	西村寛	葉村一	田中耕自
藤原毅芳	河村勲	上田えり	谷口製麵雄
三木康二	林村悦	柴田睦子	鳥取市立城北小学校 PTA
倉吉ひかり法律事務所 辻本周平	大谷優	米坂理彦	澤吉春樹
杉森忠篤	玉川義	坂出田絵彦	入江順子
鳥取県弁護士会	谷弘一	小坂明彦	鳥取トヨペット株式会社
東邦子	長谷勝	住永美彦	倉下光明
社会福祉法人 同朋会	本谷京子	安徳美代子	小長井賀里
光徳子供学園	寺橋真理	岡直子	林西田文昭
みその児童福祉会(米子聖園幼稚園・家庭センター) 米子みその米子聖園ペーテーム	高山根美智子	小屋生子	北室文昭
鳥取ライオンズクラブ	田中靖	江口弥礼	菜の花総合法律事務所
会長西尾慎一 安田法律事務所	田口善	國政昭子	忠駒井重法
弁護士安田寿朗	谷田麻理	平尾佐子	垣大法
あゆみの丘	円城寺英明	林田厚幸	佐藤道和
大塩孝江	竹下木田優	中西岡路	田中卷代
竹本芳宏	青原田吉洋	岡生洋子	酒谷本澤正
社会福祉法人 広島県同胞援助財團 子供の家三美園 統括施設長 斎藤秀生	下木田路	下岡吉洋	森湯村田商
ピアホーム 山澤由美子	本田吉也	岡生前	徳田上商
レインボーズ	寺岡真也	岸本橋	上村上
斎藤春代	国岡真也	下尾本丸	澤村上
日本橋パパの会	山西岡道	尾瀬貴子	梅原潤
大同端子製造株式会社	西根道	本島直美	叶いさみ
三枝カンパニー	大安道	中瀬恭子	谷みや
藤原栄治	西沖和	中西弘子	谷や
播因工業	岡田光	中小林	市播磨
矢田智江	米本和	船井武彦	沼上紀
聲高利江	酒昌彦	タニグチヘアサロン	中島由紀
岸本美代子	國本和	谷口義明	豊三嗣
河村美智恵	岡大輔	山本義晃	中藤晋政
国岡留美子	藤邦彦	松田幸幸	代

氏名	氏名	氏名	氏名
眞鍋 裕亮	湯川 建祐	田嶋 健一	妙元寺 住職 明星好弘
伊藤 繼俊	森田 結花	原雅子	藏本 美知子
岡野 祥子	新谷 雅人	鳥取市立病院産婦人科	富川 和彦子
松村 博克	端戸 朋子	山田 弘	中山 広友子
鈴木 慎	大塚 福子	岡田 武	谷島笑子
慎三 浦伸泰	（株）清園土木植造 大塚巖	小竹 多喜雄	中高陽一
佐々木 浦伸子	増田 慶子	福嶋 喜代子	高野晃一
久阿木 将洋	貞光 由紀江	吉田 紀之	鳥取南更生保護女性会会長
久藤 原健	海岸 恵理	S.国岡 なつみ	小宮山富美子
大沼林 楽	（株）敬二郎	医療法人社団 乾彦	西村建次・萬喜子
松村紀子	日海通信工業（株）鳥取支店	理事長 乾俊	西村照子
飯田一弘	盛田 和子	松川 真由美	税理士事務所照
糀屋一朗	尾崎 祥彦	安本 良栄	竹下努子
和氣香子	金子 英夫	鳥取更生保護女性会 坂尻恭子	端敏江子
堀内悠斗	鳥取 医療器	田村 宏	柴田美妙子
上井文彦	（株）元気ハツラツカラオケ発表会	鳥取医療器商事	松山義博
本田皓士	渡邊 哲次	代表取締役 幸村	（有）鳥取システムサービス
衣川房子	（株）コタニ 代表取締役 小谷憲司	幾野 裕昭	内山尚徳子
尾崎和弘	柏女 灵峰	鳥取保護司会第二分区	草富尚り子
杉林寛幸	下石 義忠	岡垣七宝研究所	秋崎季子
下裕一	田賀 信平	株式会社玉川一政	横山達世
上堀宇香子	斎藤 緯	信原 修	伊達萬
末岡益村	（株）木村耳鼻咽喉科医院	社会福祉法人妻の子会	米本
松酒柳	（株）今井書店	北川聰	太郎・しづえ
高森菜穂	正林督	特定非営利活動法人 Living in peace	木澤陽一郎
中蔵中	涼浜崎欣司	理事長 備	木澤太郎
高倉京枝	顕巻田豊	木村肇	木澤太郎
小岡翔	鳥取緑風高等学校	大森慧	福澤一郎
岡本裕子	高子	松浦静江	勢谷繁理
嘉菜穂	（株）中嶋司	中嶋哲	川口真理
倉枝里子	（株）豊田	伊澤亮逸	春末康史
松村京子	（株）山中儀	（株）千代エンジニアリング	惠史
中岡寿	（株）住谷青果	社会福祉法人あすなろ会	中畑博
岡辰夫	（株）田公平	高津俊哲	夕美
本真理子	（株）山村英子	鈴木洋平・恵美子	居要哲
数中	（株）山木智丈	吉成	寺司賀
岡真梨子	（株）木本敏久	田村愛子	三額
倉博莉那	（株）坂本克章	海藤ひろみ	田横
松村上	（株）奥羽徳行	日本キリスト教社会事業同盟	山谷
		福寿みどり	中山賢治
		愛真幼稚園・鳥取教会合同バザー	森永
		小谷祐司	柳賢太
		橋詰隼人	池潤明
		百村佐智	柳賢太

氏名	氏名	氏名	氏名
豊島祥子	鳥取国府更生保護女性会	松下慎之介	手皮小四郎
川戸淳裕	石川省三	福祉法人聖家族の家	白井道子
徐龍輔	井上仁・恭子	児童心理養育施設児童院	植田望
賀澤拓也	高橋昌文	鳥取いなばライオネスクラブ	有本末子
渡辺菜々緒	網島健之	二村繁美	篠岩田兼商店
川元浩嗣	吉田未来	安井将	スカイ・クリニツク
大野貴一郎	竹内亮	中本久美子	片山正見所
NPO法人 studio-E	山本真	井上初恵	春陽法律事務所
西田瑞樹	池尻真理	上島武晴	弁護士石田文
才木寿朗	宮本拓也	キママッズCLUB	トリベイ
石田航	高浦和子	内藤直人	堀内医院 堀内正人
桑田綾乃	水野浩伸	池成孝昭	山本博
鳥取鶏卵販売株式会社	坂根政代	榎直子	岸懸樋工務店
上嶋純子	澤田孝義	天理教社会福祉課	岸本延子
松永隆夫	大雲院地蔵盆子供夜店	天理教社会福祉施設連盟	小谷護
浜本五十鈴	山根浩子	米子信愛鍼灸治療院	入江一枝
常井幹生	堀内苑生	増田千尋	谷詰万寿子
福田美栄子	鳥取東更生保護女性会	米谷健	無名氏
浜田久美	安治紘紀・眞由美	市谷成子	
木村和子	大源真美	大北美津子	

物品寄付者 (2015.5.8~2015.10.30)

敬称略

氏名	氏名	氏名	氏名
江崎グリコ(株) 江口裕次郎	メガガイヤ広島駅前店	福田真	橋本
大樹寺	百村眼科	大隣寺	柳田次郎
一般社団法人ここな会 暖々	若葉台地区民生委員	沢真由美	鳥取県労働者福祉協議会 理事長 前田厚彦
民主党 鳥取県総支部連合会	吉田紀之	大雲院地蔵盆子供夜店	西尾祥幸 (西尾園)
(株)ダッドウエイ	(株)ヤマネ機材 山根茂	鳥取廣信青果	松永隆夫
松葉	いなばの里	フィリップモリスジャパン(株)	田原コンサート大阪事務所 古川千鶴
スリーバー鳥取店	橋本歯科	小坂郁枝	農林中央金庫鳥取推進室
福田	塔寛子	大和建設(株)取締役社長 竹中由紀夫	星光子
シオノ会	鳥取更生保護女性会 会長坂尻恭子	植田美由紀	日本画グループ鳥白岡文江
(株)フジ電機 鳥取営業所	(株)今井書店	山志田泰江	無名氏
(有)パンドラの箱 鳥取店	田村美好・眞由美	ひまわりの家	
谷口	高野晃一	尾崎悦子	

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局 :

〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内
■ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込口座名義 :

社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎倣子

振込口座 :

郵便振替 01490-9-9106

山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お願い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発刊しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことですので、ご理解いただきますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。